

ブラック校則をなくす！！ 四中生徒会の取組

平成31（令和元）年度

標準服の夏服にポロシャツの追加が決まる

年々上昇する気温による健康被害を防ぐため、夏服の選択肢としてポロシャツが導入された。ルール作りは生徒会本部が中心となり、試行錯誤の末、以下のルールを臨時生徒総会（5月）で承認した。

生徒会's
action

ポロシャツの着用ルールについて話し合い

- 色は白
- 胸にワンポイントのものは可
- 裾は出してきても良い
- 儀式の際には着用しない

令和2・3年度

女子生徒の頭髪の指定がなくなる

生徒会本部が発信し、校則の見直しを進める中で、女子生徒の髪型について議論が深まった。現在の、「ブラック校則」の改善の動きが生徒から起こった。

生徒会's
action

「自由と責任」について、全校で考える授業を企画。

[授業の概要] 外国からきた転校生は耳にピアスをしていた。校則で禁止されているピアスは外すように忠告をした学級委員だったが、転校生の母国では生まれた時から耳にピアスを付ける慣習があり、一度も外すことはない大切なものだという話を聞かされる。

題材から、きまりを守ることと個人を尊重することのどちらを優先するか、お互いの考えを生徒が互いに協議し、「自由と責任」について考えた。

生徒は、ポロシャツの導入や頭髪についての校則改正の中で、ルールでしぼるよりも自由の中で自分達が考えて生活することに価値を見出すことができた。

標準服の自由化に向けた試行期間を実施

LGBTQ という言葉が世界中で注目される中、女子生徒のスラックスが本格的に導入されるなど、本校も時代に合わせて変化をしてきた。学校生活にも多様性が求められる中で「標準服の自由化」に向けた動きが本格化した。一方で、生徒や保護者、地域の方々の中には、標準服を残すべきであるという意見もあり、「標準服の自由化」に向けた問題点を整理していった。



全校で「標準服の自由化」について考える授業を実施

- 2度の試行期間（夏季・冬季）を実施、アンケートから課題と成果をまとめる。
- 「標準服の自由化」について考える授業を実施（10月）
 - 保護者・生徒・教師・地域の方などの立場でロールプレイを行い（写真1）、課題を整理し、ルールづくりにつなげた。

（写真1）生徒会による授業配信の様子



それぞれの立場から、不安な意見が上がったが、自由化のメリットも数多く出た。できないことを探すのではなく、試しながらより良い方向に向かうことの必要性を感じる時間となった。

標準服の自由化を完全実施

生徒会's
action

ルールを考える上で大切にしたこと

標準服をなくさない

- 指定のものではなくても良いが、最低限度のスタイルは定める。
- 式典における標準服の着用を求めない。
→標準服を着られない生徒への配慮、「場に合った服装」を考える。

ルールではなく理念を共有

- 現状に合った細かなルール設定は、時間の経過とともに新たなブラック校則を生み出すものとする。
- ルールではなく“目指す生徒像・学校像”を生徒と教員で共に考える。

例えば…

露出の多いミニスカート、ダメージジーンズはダメ



ではなく

「人に不快感を与えない」のような考え方の共有をはかる

〈生徒総会での取組〉

生徒総会で学校生活にふさわしい服装について考える取組

- 1年生～3年生の学年間で意見を交換できるよう、班構成を工夫
- 学校生活に適した服装とそうでない服装に分け、その理由も考えて共有した。

